



Cisco ボイスメールパイロットの設定

次のトピックでは、ボイスメールパイロットの設定について説明します。

- 「ボイスメールパイロットの設定値」(P.61-1)
- 『Cisco Unified Communications Manager システムガイド』の「Cisco Unified Communications Manager へのボイスメールの接続性」
- 『Cisco Unified Communications Manager システムガイド』の「Cisco Unity と Cisco Unity Connection の設定チェックリスト」

ボイスメールパイロットの設定値

Cisco Unified Communications Manager の管理ページでは、[拡張機能 (Advanced Features)] > [ボイスメール (Voice Mail)] > [ボイスメールパイロット (Voice Mail Pilot)] メニューパスを使用して、ボイスメールパイロットを設定します。

ボイスメールパイロット番号は、ユーザが本人のボイスメッセージにアクセスするときにダイヤルする電話番号を指定します。Cisco Unified Communications Manager は、ユーザが電話機のメッセージボタンを押すと自動的にこのボイスメッセージ番号にダイヤルします。各ボイスメールパイロット番号は、異なったボイスメッセージシステムに属することができます。

ボイスメールパイロットの削除のヒント

ボイスメールパイロット番号を削除する手順は、次のとおりです。デフォルトまたは [ボイスメールなし (No Voice Mail)] のプロファイル番号は、削除できません。



(注) デフォルトまたは [ボイスメールなし (No Voice Mail)] のパイロット番号を選択した場合、[削除 (Delete)] ボタンは表示されません。

ボイスメールプロファイルが使用するボイスメールパイロット番号は、削除できません。ボイスメールパイロットを使用しているボイスメールプロファイルを検索するには、[ボイスメールパイロットの設定 (Voice Mail Pilot Configuration)] ウィンドウの [関連リンク (Related Links)] ドロップダウンリストボックスから [依存関係レコード (Dependency Records)] を選択し、[移動 (Go)] をクリックします。依存関係レコードがシステムで使用可能になっていない場合、[依存関係レコード要約 (Dependency Records Summary)] ウィンドウにメッセージが表示されます。依存関係レコードの詳細については、「依存関係レコードへのアクセス」(P.A-2) を参照してください。使用中のボイスメールパイロットを削除しようとする、Cisco Unified Communications Manager からメッセージが表示されます。現在使用されているボイスメールパイロットを削除する場合は、事前に、次の作業のどちらか一方または

両方を実行しておく必要があります。

- 削除するボイスメールパイロットを使用しているボイスメールプロファイルすべてに、別のボイスメールパイロットを割り当てます。「[ボイスメールプロファイルの設定値](#)」(P.62-1)を参照してください。
- 削除するボイスメールパイロットを使用しているボイスメールプロファイルを削除します。「[ボイスメールプロファイルの削除のヒント](#)」(P.62-1)を参照してください。

ボイスメールプロファイルがこのボイスメールパイロット番号を使用している場合は、このボイスメールパイロット番号を使用しているボイスメールプロファイルの番号を示すメッセージが表示されます。

GUI の使用方法

Cisco Unified Communications Manager の管理の Graphical User Interface (GUI; グラフィカルユーザインターフェイス) を使用してレコードを検索、削除、設定、またはコピーする方法については、「[Cisco Unified Communications Manager の管理アプリケーションでの操作](#)」(P.1-13) およびそのサブセクションを参照してください。GUI の使用方法とボタンおよびアイコンの機能の詳細が説明されています。

設定値表

表 61-1 では、ボイスメールパイロットの設定値について説明します。

表 61-1 ボイスメールパイロットの設定値

フィールド	説明
[ボイスメールパイロット番号(Voice Mail Pilot Number)]	ボイスメールパイロット番号を識別する番号を入力します。
[コーリングサーチスペース (Calling Search Space)]	<p>ドロップダウンリストボックスから、適切なコーリングサーチスペースを選択します。コーリングサーチスペースは、このパイロット番号からコールされる番号を見つけるために検索されるパーティションの集合から構成されます。</p> <p>Max List Box Items エンタープライズパラメータを使用して、このドロップダウンリストボックスで表示するコーリングサーチスペースの数を設定できます。Max List Box Items エンタープライズパラメータで指定した数よりも多くのコーリングサーチスペースが存在する場合、ドロップダウンリストボックスの横に [検索 (Find)] ボタンが表示されます。[検索 (Find)] ボタンをクリックして、[コーリングサーチスペースの検索と一覧表示 (Find and List Calling Search Spaces)] ウィンドウを表示します。コーリングサーチスペース名を検索し、選択します（「コーリングサーチスペースの設定値」(P.41-1)を参照）。</p> <p>(注) リストボックスの最大項目を設定するには、[システム(System)] > [エンタープライズパラメータ (Enterprise Parameters)] の順に選択し、[CCMAdmin Parameters] を選択します。</p>

表 61-1 ボイスメールパイロットの設定値 (続き)

フィールド	説明
[説明 (Description)]	パイロット番号の説明を記述します。説明には、任意の言語で最大 50 文字を指定できますが、二重引用符 (")、パーセント記号 (%)、アンパサンド (&)、または山カッコ (<>) は使用できません。
[システムのデフォルトボイスメールパイロットに設定 (Make this the default Voice Mail Pilot for the system)]	<p>チェックボックスをオンにして、このパイロット番号をそのシステムのボイスメールパイロットのデフォルトにします。</p> <p>(注) [システムのデフォルトボイスメールパイロットに設定 (Make this the default Voice Mail Pilot for the system)] ボックスをオンにすると、このボイスメールパイロット番号は、現在のデフォルトパイロット番号を置き換えます。</p>

追加情報

「関連項目」(P.61-3) を参照してください。

関連項目

- 「Cisco ボイスメールパイロットの設定」(P.61-1)
- 「ボイスメールパイロットの設定値」(P.61-1)
- 『Cisco Unified Communications Manager システムガイド』の「Cisco Unified Communications Manager へのボイスメールの接続性」
- 『Cisco Unified Communications Manager システムガイド』の「Cisco Unity と Cisco Unity Connection の設定チェックリスト」
- 「メッセージ受信の設定」(P.60-1)
- 「ボイスメールプロファイルの設定」(P.62-1)

